◇MUZ-920894-0000-20260908◇

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／債券	
信託期間	無期限（2003年３月14日設定）	
運用方針	豪ドル債券インカムマザーファンド受益証券への投資を通じて、主として高格付の豪ドル建ての公社債に実質的な投資を行います。 マザーファンド受益証券の組入比率は高位を維持することを基本とします。 デュレーション調整等のため、債券先物取引等を利用する場合があります。 実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。	
主要運用対象	ベビーファンド	豪ドル債券インカムマザーファンド受益証券を主要投資対象とします。
	マザーファンド	豪ドル建ての公社債を主要投資対象とします。
主な組入制限	ベビーファンド	外貨建資産への実質投資割合に制限を設けません。
	マザーファンド	外貨建資産への投資割合に制限を設けません。
分配方針	経費等控除後の利子等収益および売買益（評価益を含みます。）等の全額を分配対象額とし、分配金額は、原則として、配当等収益や分配対象額の水準等を考慮し、安定した分配を継続することをめざします。ただし、分配対象収益が少額の場合には分配を行わないことがあります。また、基準価額水準、運用状況等によっては安定した分配とならないことがあります。	

運用報告書（全体版）

三菱ＵＦＪ
豪ドル債券インカムオープン

愛称：夢実月

第276期（決算日：2026年４月８日）
第277期（決算日：2026年５月８日）
第278期（決算日：2026年６月８日）
第279期（決算日：2026年７月８日）
第280期（決算日：2026年８月10日）
第281期（決算日：2026年９月８日）

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

ここに謹んで運用経過等をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引き立てを賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

MUFG
三菱UFJアセットマネジメント

東京都港区東新橋一丁目９番１号
ホームページ　https://www.am.mufg.jp/

当運用報告書に関するお問い合わせ先
お客さま専用フリーダイヤル　０１２０－１５１０３４
（受付時間：営業日の9:00～17:00、土・日・祝日・12月31日～１月３日を除く）
お客さまのお取引内容につきましては、お取扱いの販売会社にお尋ねください。

本資料の表記にあたって

・原則として、各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しておりますので、表中の個々の数字の合計が合計欄の値とは一致しないことがあります。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。
・－印は組入れまたは売買がないことを示しています。

○最近30期の運用実績

決算期	基準価額			債券組入比率	債券先物比率	純資産総額
	(分配落)	税込み分配金	期中騰落率			
	円	円	%	%	%	百万円
252期(2024年４月８日)	4,308	10	1.8	97.4	－	40,998
253期(2024年５月８日)	4,384	10	2.0	97.8	－	41,105
254期(2024年６月10日)	4,445	10	1.6	96.5	－	41,053
255期(2024年７月８日)	4,642	10	4.7	97.9	－	42,197
256期(2024年８月８日)	4,131	10	△10.8	98.1	－	37,068
257期(2024年９月９日)	4,161	10	1.0	97.9	－	36,992
258期(2024年10月８日)	4,327	10	4.2	97.9	－	38,125
259期(2024年11月８日)	4,381	10	1.5	97.8	－	38,241
260期(2024年12月９日)	4,155	10	△ 4.9	98.0	－	35,794
261期(2025年１月８日)	4,248	10	2.5	98.3	－	36,251
262期(2025年２月10日)	4,128	10	△ 2.6	98.4	－	34,899
263期(2025年３月10日)	4,034	10	△ 2.0	96.9	－	33,813
264期(2025年４月８日)	3,894	10	△ 3.2	96.6	－	32,462
265期(2025年５月８日)	4,040	10	4.0	96.4	－	33,456
266期(2025年６月９日)	4,124	5	2.2	97.7	－	33,841
267期(2025年７月８日)	4,184	5	1.6	98.1	－	33,798
268期(2025年８月８日)	4,217	5	0.9	98.6	－	33,557
269期(2025年９月８日)	4,267	5	1.3	97.2	－	33,419
270期(2025年10月８日)	4,389	5	3.0	98.1	－	33,787
271期(2025年11月10日)	4,395	5	0.3	98.2	－	33,258
272期(2025年12月８日)	4,477	5	2.0	98.1	－	33,339
273期(2026年１月８日)	4,575	5	2.3	98.5	－	33,525
274期(2026年２月９日)	4,775	5	4.5	98.0	－	34,536
275期(2026年３月９日)	4,778	5	0.2	97.6	－	34,189
276期(2026年４月８日)	4,824	5	1.1	96.9	－	34,259
277期(2026年５月８日)	4,896	5	1.6	97.6	－	34,463
278期(2026年６月８日)	4,908	5	0.3	97.3	－	34,210
279期(2026年７月８日)	4,912	5	0.2	98.1	－	33,902
280期(2026年８月10日)	4,858	5	△ 1.0	97.2	－	33,150
281期(2026年９月８日)	4,801	5	△ 1.1	97.8	－	32,410

(注) 基準価額の騰落率は分配金込み。
(注) 当ファンドの値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。
(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。
(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

○当作成期中の基準価額と市況等の推移

決算期	年月日	基準価額		債券組入比率	債券先物比率
			騰落率		
	（期　首）	円	%	%	%
	2026年３月９日	4,778	－	97.6	－
第276期	３月末	4,718	△1.3	96.9	－
	（期　末）				
	2026年４月８日	4,829	1.1	96.9	－
	（期　首）				
	2026年４月８日	4,824	－	96.9	－
第277期	４月末	4,932	2.2	97.7	－
	（期　末）				
	2026年５月８日	4,901	1.6	97.6	－
	（期　首）				
	2026年５月８日	4,896	－	97.6	－
第278期	５月末	4,951	1.1	95.5	－
	（期　末）				
	2026年６月８日	4,913	0.3	97.3	－
	（期　首）				
	2026年６月８日	4,908	－	97.3	－
第279期	６月末	4,871	△0.8	97.5	－
	（期　末）				
	2026年７月８日	4,917	0.2	98.1	－
	（期　首）				
	2026年７月８日	4,912	－	98.1	－
第280期	７月末	4,916	0.1	97.2	－
	（期　末）				
	2026年８月10日	4,863	△1.0	97.2	－
	（期　首）				
	2026年８月10日	4,858	－	97.2	－
第281期	８月末	4,981	2.5	97.6	－
	（期　末）				
	2026年９月８日	4,806	△1.1	97.8	－

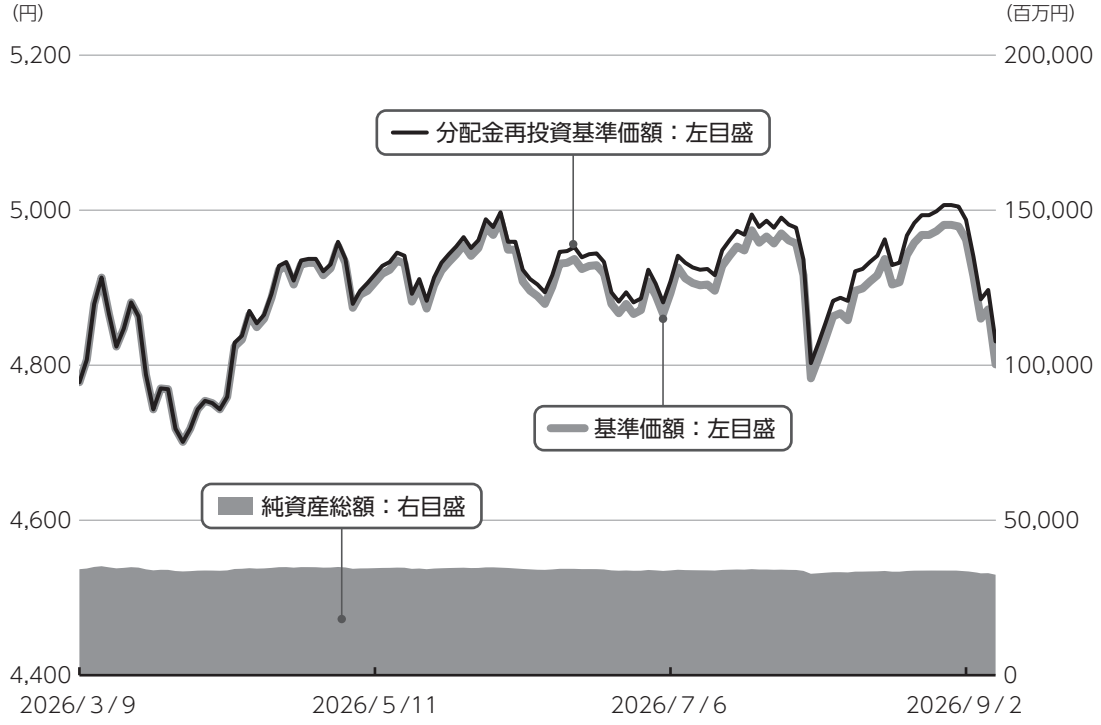
（注）期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。
（注）当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。
（注）「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

運用経過

第276期～第281期：2026年３月10日～2026年９月８日

当作成期中の基準価額等の推移について

基準価額等の推移



第276期首	4,778円
第281期末	4,801円
既払分配金	30円
騰　落　率	1.1％

（分配金再投資ベース）

※分配金再投資基準価額は、分配金が支払われた場合、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
※実際のファンドにおいては、分配金を再投資するかどうかについては、受益者のみなさまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、各個人の受益者のみなさまの損益の状況を示すものではない点にご留意ください。

基準価額の動き

基準価額は期間の初めに比べ1.1％（分配金再投資ベース）の上昇となりました。

基準価額の主な変動要因

上昇要因

豪ドルが対円で上昇したことや、債券利子収入を享受したことなどが基準価額の上昇要因となりました。

下落要因

豪州金利が上昇したことなどが基準価額の下落要因となりました。

第276期～第281期：2026年３月10日～2026年９月８日

投資環境について

▶ 債券市況

豪州金利は上昇しました。

2026年６月にかけては米国・イラン間の和平交渉の進展への期待感が高まり豪州金利が低下する局面もありましたが、その後中東情勢の緊張が再度高まり原油価格が再度上昇したことや、８月に発表された豪州の消費者物価指数（ＣＰＩ）が市場予想を上回ったことで、オーストラリア準備銀行（ＲＢＡ）による追加利上げの可能性が意識されたことなどから、豪州金利は上昇しました。期間を通じてみると豪州金利は上昇しました。

▶ 為替市況

豪ドルは対円で上昇しました。

豪州準備銀行（ＲＢＡ）がインフレ抑制のため複数回の利上げを行ったことなどから、豪ドルは対円で上昇しました。

当該投資信託のポートフォリオについて

▶ 三菱ＵＦＪ 豪ドル債券インカムオープン

主要投資対象である豪ドル債券インカムマザーファンド受益証券への投資を通じて、豪ドル建ての信用度の高い公社債を高位に組み入れた運用を行いました。

▶ 豪ドル債券インカムマザーファンド

期間を通じて、豪ドル建ての債券現物の組入比率は高位を維持しました。

デュレーション（平均回収期間や金利感応度）

ファンド全体のデュレーションは、豪州や米国などの金融政策、インフレ動向などを注視しながら操作しました。結果、期間末のデュレーションは2.7年程度となっています。

残存期間構成

イールドカーブの傾きに注目するとともに、デュレーションを短期化する局面では短期ゾーンの組入比率を高めとし、長期化する局面では中長期ゾーンの組入比率を高めとしました。

債券種別構成

豪州国債に対する相対的なスプレッド（利回り格差）動向を睨みながら、債券種別構成を調整しました。当期間は、国債の組入比率を引き上げ、非国債の組入比率を引き下げました。

当該投資信託のベンチマークとの差異について

当ファンドの値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。
従って、ベンチマークおよび参考指数との対比は表記できません。

分配金について

収益分配金につきましては、基準価額水準、市況動向、分配対象額の水準等を勘案し、次表の通りとさせていただきました。収益分配に充てなかった利益（留保益）につきましては、信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づいて運用します。

分配原資の内訳

（単位：円、１万口当たり、税込み）

項　目	第276期 2026年3月10日～ 2026年4月8日	第277期 2026年4月9日～ 2026年5月8日	第278期 2026年5月9日～ 2026年6月8日	第279期 2026年6月9日～ 2026年7月8日	第280期 2026年7月9日～ 2026年8月10日	第281期 2026年8月11日～ 2026年9月8日
当期分配金 （対基準価額比率）	**5** (0.104%)	**5** (0.102%)	**5** (0.102%)	**5** (0.102%)	**5** (0.103%)	**5** (0.104%)
当期の収益	5	5	5	5	5	5
当期の収益以外	－	－	－	－	－	－
翌期繰越分配対象額	410	417	422	425	428	429

（注）対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

（注）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

今後の運用方針（作成対象期間末での見解です。）

▶三菱ＵＦＪ 豪ドル債券インカムオープン

豪ドル債券インカムマザーファンド受益証券の組入比率を高位に保ち、マザーファンドのポートフォリオの構成に近づけた状態を維持する方針です。

▶豪ドル債券インカムマザーファンド

組入比率

安定した利子収益の確保をめざし、引き続き債券現物の高位組み入れを維持する方針です。

デュレーション（平均回収期間や金利感応度）

豪州の金融政策の方向性、グローバルな景気・インフレ動向を睨みながら、機動的に操作する方針です。

残存期間構成

デュレーションを長期化する局面では中長期ゾーンを、短期化する局面では短期ゾーンの組入比率を高めとする方針です。

債券種別構成

国債に対する相対的なスプレッド（利回り格差）動向や市場のボラティリティ変動要因などに注視し、必要に応じて組入比率を調整する方針です。

2026年３月10日～2026年９月８日

１万口当たりの費用明細

項目	第276期～第281期 金額（円）	第276期～第281期 比率（%）	項目の概要
(a)信託報酬	28	0.579	(a)信託報酬＝作成期中の平均基準価額×信託報酬率×（作成期中の日数÷年間日数）
（投信会社）	(13)	(0.259)	ファンドの運用・調査、受託会社への運用指図、基準価額の算出、目論見書等の作成等の対価
（販売会社）	(14)	(0.292)	交付運用報告書等各種書類の送付、顧客口座の管理、購入後の情報提供等の対価
（受託会社）	(1)	(0.028)	ファンドの財産の保管および管理、委託会社からの運用指図の実行等の対価
(b)その他費用	0	0.006	(b)その他費用＝作成期中のその他費用÷作成期中の平均受益権口数
（保管費用）	(0)	(0.004)	有価証券等を海外で保管する場合、海外の保管機関に支払われる費用
（監査費用）	(0)	(0.002)	ファンドの決算時等に監査法人から監査を受けるための費用
（その他）	(0)	(0.000)	信託事務の処理等に要するその他諸費用
合計	28	0.585	

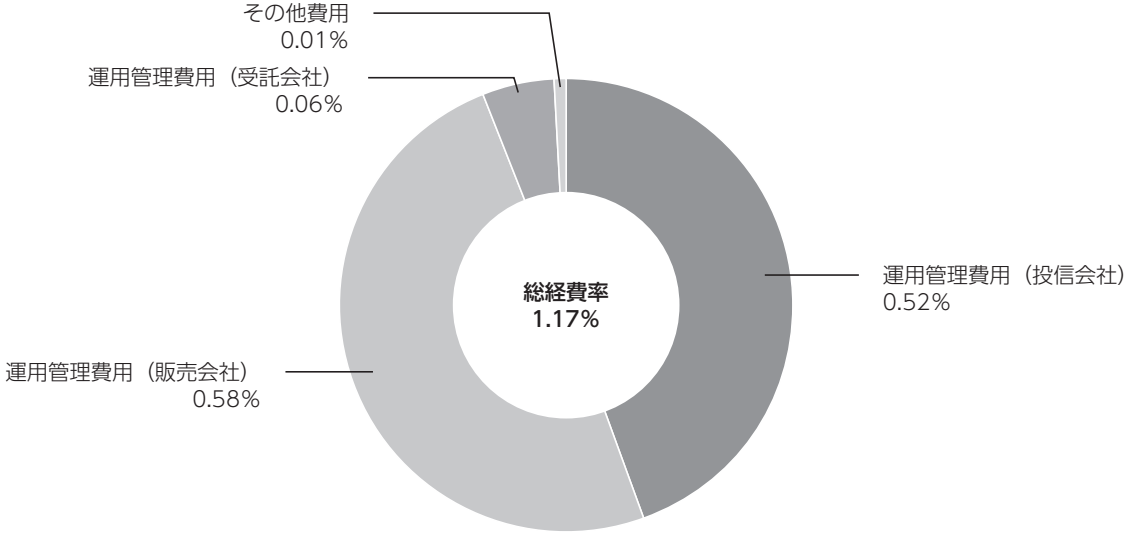
作成期中の平均基準価額は、4,893円です。

（注）作成期間の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。
（注）各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。
（注）その他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。
（注）各比率は１万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第３位未満は四捨五入してあります。

（参考情報）

■総経費率

当作成対象期間の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を作成期中の平均受益権口数に作成期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した**総経費率（年率）は1.17%**です。



（注）費用は、１万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。
（注）各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。
（注）各比率は、年率換算した値です。
（注）前記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

○売買及び取引の状況

（2026年３月10日～2026年９月８日）

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘柄	第276期～第281期			
	設定		解約	
	口数	金額	口数	金額
	千口	千円	千口	千円
豪ドル債券インカムマザーファンド	8,039	13,159	1,443,360	2,396,530

○利害関係人との取引状況等

（2026年３月10日～2026年９月８日）

利害関係人との取引状況

＜三菱ＵＦＪ 豪ドル債券インカムオープン＞

該当事項はございません。

＜豪ドル債券インカムマザーファンド＞

区分	第276期～第281期					
	買付額等 A	うち利害関係人との取引状況B	B/A	売付額等 C	うち利害関係人との取引状況D	D/C
	百万円	百万円	%	百万円	百万円	%
為替直物取引	－	－	－	2,392	225	9.4

平均保有割合　95.7%

※平均保有割合とは、親投資信託の残存口数の合計に対する当該ベビーファンドの親投資信託所有口数の割合。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは三菱ＵＦＪ銀行です。

○組入資産の明細

（2026年９月８日現在）

親投資信託残高

銘柄	第275期末	第281期末	
	口数	口数	評価額
	千口	千口	千円
豪ドル債券インカムマザーファンド	21,173,166	19,737,844	32,332,563

○投資信託財産の構成

（2026年９月８日現在）

項　　目	第281期末	
	評　価　額	比　率
	千円	%
豪ドル債券インカムマザーファンド	32,332,563	99.4
コール・ローン等、その他	188,898	0.6
投資信託財産総額	32,521,461	100.0

（注）豪ドル債券インカムマザーファンドにおいて、作成期末における外貨建純資産（33,860,739千円）の投資信託財産総額（42,580,806千円）に対する比率は79.5%です。

（注）外貨建資産は、作成期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、作成期末における邦貨換算レートは以下の通りです。

１オーストラリアドル＝110.97円			

○資産、負債、元本及び基準価額の状況

項　　目	第276期末	第277期末	第278期末	第279期末	第280期末	第281期末
	2026年４月８日現在	2026年５月８日現在	2026年６月８日現在	2026年７月８日現在	2026年８月10日現在	2026年９月８日現在
	円	円	円	円	円	円
(A)　資産	**34,327,754,890**	**34,550,241,758**	**34,309,448,373**	**34,004,882,901**	**33,248,171,977**	**32,521,461,757**
コール・ローン等	110,591,176	111,056,560	114,279,811	116,542,837	112,523,865	108,789,300
豪ドル債券インカムマザーファンド(評価額)	34,177,663,008	34,385,265,601	34,129,170,043	33,819,958,910	33,071,545,729	32,332,563,684
未収入金	39,498,551	53,917,415	65,996,282	68,378,067	64,099,402	80,105,897
未収利息	2,155	2,182	2,237	3,087	2,981	2,876
(B)　負債	**68,102,856**	**86,974,637**	**98,507,699**	**102,833,158**	**97,984,426**	**111,189,228**
未払収益分配金	35,511,986	35,194,855	34,849,662	34,512,230	34,120,780	33,755,987
未払解約金	－	18,801,631	29,625,866	35,927,469	28,463,071	46,604,384
未払信託報酬	32,461,036	32,846,772	33,896,596	32,264,411	35,259,547	30,706,043
その他未払費用	129,834	131,379	135,575	129,048	141,028	122,814
(C)　純資産総額（Ａ－Ｂ）	**34,259,652,034**	**34,463,267,121**	**34,210,940,674**	**33,902,049,743**	**33,150,187,551**	**32,410,272,529**
元本	71,023,972,373	70,389,710,727	69,699,324,058	69,024,461,683	68,241,561,405	67,511,975,183
次期繰越損益金	△36,764,320,339	△35,926,443,606	△35,488,383,384	△35,122,411,940	△35,091,373,854	△35,101,702,654
(D)　受益権総口数	**71,023,972,373口**	**70,389,710,727口**	**69,699,324,058口**	**69,024,461,683口**	**68,241,561,405口**	**67,511,975,183口**
１万口当たり基準価額（Ｃ／Ｄ）	**4,824円**	**4,896円**	**4,908円**	**4,912円**	**4,858円**	**4,801円**

○損益の状況

項　　目	第276期 2026年３月10日～ 2026年４月８日	第277期 2026年４月９日～ 2026年５月８日	第278期 2026年５月９日～ 2026年６月８日	第279期 2026年６月９日～ 2026年７月８日	第280期 2026年７月９日～ 2026年８月10日	第281期 2026年８月11日～ 2026年９月８日
	円	円	円	円	円	円
(A) 配当等収益	**59,271**	**61,376**	**63,134**	**73,718**	**86,305**	**205,459**
受取利息	59,271	61,376	63,134	73,718	86,305	75,056
その他収益金	－	－	－	－	－	130,403
(B) 有価証券売買損益	**391,964,594**	**577,196,565**	**154,068,859**	**89,049,673**	**Δ 298,010,417**	**Δ 321,514,687**
売買益	396,041,949	582,147,302	157,054,034	92,745,703	3,447,339	6,025,429
売買損	△ 4,077,355	△ 4,950,737	△ 2,985,175	△ 3,696,030	△ 301,457,756	△ 327,540,116
(C) 信託報酬等	**Δ 32,590,870**	**Δ 32,978,151**	**Δ 34,032,171**	**Δ 32,393,459**	**Δ 35,400,575**	**Δ 30,828,857**
(D) 当期損益金（Ａ＋Ｂ＋Ｃ）	**359,432,995**	**544,279,790**	**120,099,822**	**56,729,932**	**Δ 333,324,687**	**Δ 352,138,085**
(E) 前期繰越損益金	**Δ 664,487,389**	**Δ 336,817,347**	**170,447,256**	**253,106,899**	**272,171,699**	**Δ 94,105,871**
(F) 追加信託差損益金	**Δ36,423,753,959**	**Δ36,098,711,194**	**Δ35,744,080,800**	**Δ35,397,736,541**	**Δ34,996,100,086**	**Δ34,621,702,711**
（配当等相当額）	(2,485,848,782)	(2,464,522,858)	(2,441,119,431)	(2,418,043,610)	(2,390,961,748)	(2,365,792,806)
（売買損益相当額）	(Δ38,909,602,741)	(Δ38,563,234,052)	(Δ38,185,200,231)	(Δ37,815,780,151)	(Δ37,387,061,834)	(Δ36,987,495,517)
(G) 計（Ｄ＋Ｅ＋Ｆ）	**Δ36,728,808,353**	**Δ35,891,248,751**	**Δ35,453,533,722**	**Δ35,087,899,710**	**Δ35,057,253,074**	**Δ35,067,946,667**
(H) 収益分配金	**Δ 35,511,986**	**Δ 35,194,855**	**Δ 34,849,662**	**Δ 34,512,230**	**Δ 34,120,780**	**Δ 33,755,987**
次期繰越損益金（Ｇ＋Ｈ）	**Δ36,764,320,339**	**Δ35,926,443,606**	**Δ35,488,383,384**	**Δ35,122,411,940**	**Δ35,091,373,854**	**Δ35,101,702,654**
追加信託差損益金	△36,423,753,959	△36,098,711,194	△35,744,080,800	△35,397,736,541	△34,996,100,086	△34,621,702,711
（配当等相当額）	(2,485,932,750)	(2,464,639,679)	(2,441,188,974)	(2,418,093,614)	(2,390,993,448)	(2,365,823,632)
（売買損益相当額）	(△38,909,686,709)	(△38,563,350,873)	(△38,185,269,774)	(△37,815,830,155)	(△37,387,093,534)	(△36,987,526,343)
分配準備積立金	430,737,022	476,070,550	506,736,225	519,698,063	531,247,990	532,638,286
繰越損益金	△ 771,303,402	△ 303,802,962	△ 251,038,809	△ 244,373,462	△ 626,521,758	△ 1,012,638,229

（注）**(B)有価証券売買損益**は各期末の評価換えによるものを含みます。
（注）**(C)信託報酬等**には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。
（注）**(F)追加信託差損益金**とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

＜注記事項＞

①作成期首（前作成期末）元本額　71,555,743,766円
　作成期中追加設定元本額　492,665,536円
　作成期中一部解約元本額　4,536,434,119円
　また、１口当たり純資産額は、作成期末0.4801円です。
②純資産総額が元本額を下回っており、その差額は35,101,702,654円です。
③分配金の計算過程

項　　目	2026年３月10日～ 2026年４月８日	2026年４月９日～ 2026年５月８日	2026年５月９日～ 2026年６月８日	2026年６月９日～ 2026年７月８日	2026年７月９日～ 2026年８月10日	2026年８月11日～ 2026年９月８日
費用控除後の配当等収益額	80,643,689円	85,082,243円	70,732,239円	52,738,706円	51,733,998円	41,104,283円
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	－円	－円	－円	－円	－円	－円
収益調整金額	2,485,932,750円	2,464,639,679円	2,441,188,974円	2,418,093,614円	2,390,993,448円	2,365,823,632円
分配準備積立金額	385,605,319円	426,183,162円	470,853,648円	501,471,587円	513,634,772円	525,289,990円
当ファンドの分配対象収益額	2,952,181,758円	2,975,905,084円	2,982,774,861円	2,972,303,907円	2,956,362,218円	2,932,217,905円
１万口当たり収益分配対象額	415円	422円	427円	430円	433円	434円
１万口当たり分配金額	5円	5円	5円	5円	5円	5円
収益分配金金額	35,511,986円	35,194,855円	34,849,662円	34,512,230円	34,120,780円	33,755,987円

○分配金のお知らせ

	第276期	第277期	第278期	第279期	第280期	第281期
１万口当たり分配金（税込み）	5円	5円	5円	5円	5円	5円

・分配金は、分配後の基準価額と個々の受益者の個別元本との差により、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」に分かれます。
・分配後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合は、全額が普通分配金となります。分配後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）となり、残りの額が普通分配金となります。
・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時に個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。

＊三菱ＵＦＪアセットマネジメントでは本資料のほかに当ファンドに関する情報等の開示を行っている場合があります。詳しくは、取り扱い販売会社にお問い合わせいただくか、当社ホームページ（https://www.am.mufg.jp/）をご覧ください。

［お 知 ら せ］

投資信託約款に記載された「一般社団法人投資信託協会」を、「一般社団法人資産運用業協会」に記載変更を行いました。

一般社団法人資産運用業協会設立準備法人を吸収合併存続法人、一般社団法人日本投資顧問業協会と一般社団法人投資信託協会を吸収合併消滅法人として2026年４月１日付で合併し、「一般社団法人資産運用業協会」に名称を変更することとなったため、投資信託約款に所要の変更を行いました。

（2026年４月１日）

豪ドル債券インカムマザーファンド

《第13期》決算日2026年３月９日

［計算期間：2025年３月11日～2026年３月９日］

「豪ドル債券インカムマザーファンド」は、３月９日に第13期の決算を行いました。
以下、法令・諸規則に基づき、当マザーファンドの第13期の運用状況をご報告申し上げます。

運用方針	主として高格付の豪ドル建ての公社債に投資を行います。 投資にあたっては、オーストラリアの国債、政府機関債、ＡＡ－格相当以上の格付を有する州政府債および政府保証債等、ならびにオーストラリア以外のＡＡ－格相当以上の格付を有する政府機関債および国際機関債等に分散投資を行います。 運用にあたっては、ポートフォリオの平均デュレーションを１年以上５年以内とします。 デュレーション調整等のため、債券先物取引等を利用する場合があります。 組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。
主要運用対象	豪ドル建ての公社債を主要投資対象とします。
主な組入制限	外貨建資産への投資割合に制限を設けません。

○最近５期の運用実績

決算期	基準価額		債券組入比率	債券先物比率	純資産総額
		期中騰落率			
	円	%	%	%	百万円
９期(2022年３月８日)	11,433	△ 1.1	97.2	△4.5	54,848
10期(2023年３月８日)	11,967	4.7	97.6	－	47,100
11期(2024年３月８日)	13,363	11.7	98.0	－	42,536
12期(2025年３月10日)	13,221	△ 1.1	97.2	－	35,117
13期(2026年３月９日)	16,109	21.8	97.9	－	35,609

(注) 当ファンドの値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。
(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額		債券組入比率	債券先物比率
		騰落率		
（期　首）	円	%	%	%
2025年３月10日	13,221	－	97.2	－
３月末	13,389	1.3	94.8	－
４月末	13,126	△ 0.7	96.4	－
５月末	13,356	1.0	96.6	－
６月末	13,772	4.2	97.0	－
７月末	14,023	6.1	98.8	－
８月末	14,028	6.1	97.7	－
９月末	14,308	8.2	98.5	－
10月末	14,816	12.1	98.2	－
11月末	14,951	13.1	97.9	－
12月末	15,257	15.4	94.7	－
2026年１月末	15,733	19.0	98.6	－
２月末	16,189	22.4	97.4	－
（期　末）				
2026年３月９日	16,109	21.8	97.9	－

（注）騰落率は期首比。
（注）「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

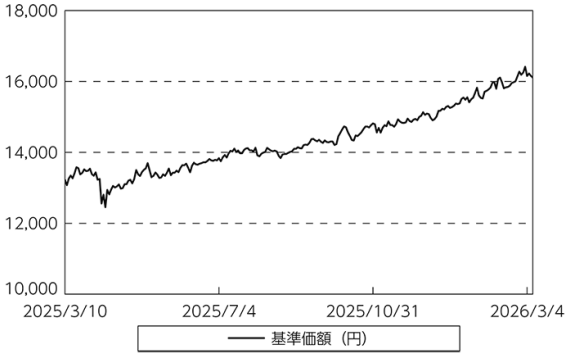
○運用経過

●当期中の基準価額等の推移について

◎基準価額の動き

基準価額は期間の初めに比べ21.8%の上昇となりました。

基準価額等の推移



●基準価額の主な変動要因

（上昇要因）

豪ドルが対円で上昇したことや、債券利子収入を享受したことなどが基準価額の上昇要因となりました。

（下落要因）

豪州金利が上昇したことなどが基準価額の下落要因となりました。

●投資環境について

◎債券市況

・豪州金利は上昇しました。
・米国の相互関税賦課によるグローバル経済の減速懸念の高まりなどを背景に、豪州金利は低下する局面があったものの、その後、期間の後半にかけて豪州の消費者物価指数（ＣＰＩ）が市場予想を上回る伸びを示したことや、豪州の雇

用統計が堅調な結果となったことなどを背景に豪州準備銀行（ＲＢＡ）がインフレに対して警戒感を示し、利上げを実施したことなどから、豪州金利は上昇しました。

◎為替市況
・豪ドルは対円で上昇しました。
・ＲＢＡのインフレに対する警戒感などを背景に利上げ観測が高まったことなどから、豪ドルは対円で上昇しました。

●当該投資信託のポートフォリオについて
◎組入比率
・期間を通じて、豪ドル建ての債券現物の組入比率は高位を維持しました。

◎デュレーション
・ファンド全体のデュレーション（平均回収期間や金利感応度）は、豪州や米国などの金融政策、インフレ動向などを注視しながら操作しました。結果、期間末のデュレーションは2.9年程度となっています。

◎残存期間構成
・イールドカーブの傾きに注目するとともに、デュレーションを短期化する局面では短期ゾーンの組入比率を高めとし、長期化する局面では中長期ゾーンの組入比率を高めとしました。

◎債券種別構成
・豪州国債に対する相対的なスプレッド（利回り格差）動向を睨みながら、債券種別構成を調整しました。当期間は、国債の組入比率を引き上げ、非国債の組入比率を引き下げました。

○今後の運用方針
（組入比率）
・安定した利子収益の確保をめざし、引き続き債券現物の高位組み入れを維持する方針です。
（デュレーション）
・豪州の金融政策の方向性、グローバルな景気・インフレ動向を睨みながら、機動的に操作する方針です。
（残存期間構成）
・デュレーションを長期化する局面では中長期ゾーンを、短期化する局面では短期ゾーンの組入比率を高めとする方針です。
（債券種別構成）
・国債に対する相対的なスプレッド動向や市場のボラティリティ変動要因などに注視し、必要に応じて組入比率を調整する方針です。

○１万口当たりの費用明細

（2025年３月11日～2026年３月９日）

項目	当期 金額	当期 比率	項目の概要
	円	%	
(a) その他費用	1	0.008	(a)その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（保管費用）	(1)	(0.008)	有価証券等を海外で保管する場合、海外の保管機関に支払われる費用
（その他）	(0)	(0.000)	信託事務の処理等に要するその他諸費用
合計	1	0.008	
期中の平均基準価額は、14,339円です。			

（注）各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。
（注）各比率は１万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第３位未満は四捨五入してあります。

○売買及び取引の状況

（2025年３月11日～2026年３月９日）

公社債

			買付額	売付額
			千オーストラリアドル	千オーストラリアドル
外国	オーストラリア	国債証券	339,824	319,635 (29,000)
		地方債証券	－	1,978 (9,000)
		特殊債券	91,420	51,939 (70,000)

（注）金額は受渡代金。（経過利子分は含まれておりません。）
（注）( )内は償還等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

○利害関係人との取引状況等

（2025年３月11日～2026年３月９日）

利害関係人との取引状況

区　　分	買付額等 A	うち利害関係人との取引状況B	B/A	売付額等 C	うち利害関係人との取引状況D	D/C
	百万円	百万円	%	百万円	百万円	%
為替直物取引	－	－	－	6,389	1,136	17.8

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは三菱ＵＦＪ銀行、三菱ＵＦＪ信託銀行、モルガン・スタンレーＭＵＦＧ証券です。

○組入資産の明細

（2026年３月９日現在）

外国公社債

（A）外国(外貨建)公社債　種類別開示

区　　分	当期末							
	額面金額	評価額		組入比率	うちBB格以下組入比率	残存期間別組入比率		
		外貨建金額	邦貨換算金額			５年以上	２年以上	２年未満
	千オーストラリアドル	千オーストラリアドル	千円	%	%	%	%	%
オーストラリア	333,300	315,554	34,846,738	97.9	－	19.0	52.2	26.6
合　　計	333,300	315,554	34,846,738	97.9	－	19.0	52.2	26.6

（注）邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。
（注）組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。
（注）評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

（B）外国(外貨建)公社債　銘柄別開示

銘　　柄			当期末				
			利　率	額面金額	評価額		償還年月日
					外貨建金額	邦貨換算金額	
オーストラリア			%	千オーストラリアドル	千オーストラリアドル	千円	
	国債証券	1 AUST GOVT 301221	1.0	13,000	11,067	1,222,232	2030/12/21
		1 AUST GOVT 311121	1.0	20,000	16,476	1,819,466	2031/11/21
		2.25 AUST GOVT 280521	2.25	1,000	955	105,546	2028/5/21
		2.75 AUST GOVT 291121	2.75	34,000	32,060	3,540,456	2029/11/21
		3 AUST GOVT 331121	3.0	8,000	7,126	786,950	2033/11/21
		3.25 AUST GOVT 290421	3.25	11,000	10,627	1,173,599	2029/4/21
	地方債証券	5.25 AUST CAPITAL 361023	5.25	5,000	4,841	534,619	2036/10/23
	特殊債券	1.25 VICTORIA 271119	1.25	15,000	14,211	1,569,386	2027/11/19
		1.41 BNG BANK NV 310728	1.41	3,000	2,408	265,986	2031/7/28
		1.5 VICTORIA 301120	1.5	5,000	4,307	475,644	2030/11/20
		1.55 BNG BANK NV 320219	1.55	3,000	2,448	270,418	2032/2/19
		2 TASMANIAN PUBLI 300124	2.0	1,000	901	99,522	2030/1/24

銘柄			当期末				償還年月日
			利率	額面金額	評価額		
					外貨建金額	邦貨換算金額	
オーストラリア			%	千オーストラリアドル	千オーストラリアドル	千円	
	特殊債券	2.39 IBRD 311208	2.39	5,000	4,230	467,140	2031/12/8
		2.5 VICTORIA 291022	2.5	15,000	13,903	1,535,330	2029/10/22
		3 NEWSWALES 280320	3.0	20,000	19,403	2,142,695	2028/3/20
		3 NEWSWALES 290420	3.0	17,000	16,201	1,789,170	2029/4/20
		3 NEWSWALES 300220	3.0	7,000	6,575	726,150	2030/2/20
		3 SOUTH AUST GOVT 260720	3.0	15,000	14,941	1,649,973	2026/7/20
		3 SOUTH AUST GOVT 280524	3.0	5,000	4,835	533,956	2028/5/24
		3 VICTORIA 281020	3.0	20,000	19,209	2,121,338	2028/10/20
		3 WEST AUST TREAS 261021	3.0	10,000	9,927	1,096,326	2026/10/21
		3.1 IADB 280222	3.1	5,000	4,860	536,689	2028/2/22
		3.2 KFW 260911	3.2	3,000	2,981	329,219	2026/9/11
		3.25 QUEENSLAND 260721	3.25	19,000	18,941	2,091,665	2026/7/21
		3.3 ASIAN DEV 280808	3.3	5,000	4,842	534,707	2028/8/8
		3.45 NEDER WATERS 280717	3.45	10,000	9,697	1,070,839	2028/7/17
		3.75 NORTHERN TER 330421	3.75	2,000	1,808	199,732	2033/4/21
		3.75 TASMANIAN PU 290122	3.75	2,000	1,951	215,471	2029/1/22
		3.85 IADB 290124	3.85	5,000	4,886	539,588	2029/1/24
		4 AUSTRALIAN POST 261201	4.0	3,000	2,984	329,583	2026/12/1
		4 NEWSWALES 260520	4.0	5,000	4,999	552,133	2026/5/20
		4.4 IBRD 280113	4.4	3,000	2,986	329,819	2028/1/13
		4.45 INTL FINAN 300117	4.45	5,000	4,947	546,324	2030/1/17
		4.5 INTL FINAN 300520	4.5	2,000	1,975	218,192	2030/5/20
		4.5 SOUTH AUST GO 330524	4.5	5,000	4,819	532,217	2033/5/24
		4.6 IADB 310721	4.6	5,000	4,938	545,347	2031/7/21
		4.6 KFW 310616	4.6	3,000	2,964	327,354	2031/6/16
		4.8 NEDER WATERSC 310805	4.8	5,000	4,970	548,875	2031/8/5
		5 AIRSERV AUST 310515	5.0	2,300	2,290	252,912	2031/5/15
		5.25 NORTHERN TER 340321	5.25	2,000	1,969	217,465	2034/3/21
		5.5 VICTORIA 261117	5.5	9,000	9,079	1,002,685	2026/11/17
合計						34,846,738	

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

○投資信託財産の構成

(2026年３月９日現在)

項目	当期末	
	評価額	比率
	千円	%
公社債	34,846,738	97.6
コール・ローン等、その他	856,913	2.4
投資信託財産総額	35,703,651	100.0

(注) 期末における外貨建純資産（35,563,068千円）の投資信託財産総額（35,703,651千円）に対する比率は99.6%です。

(注) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、期末における邦貨換算レートは以下の通りです。

1オーストラリアドル＝110.43円			

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2026年３月９日現在)

項　　目	当 期 末
	円
(A) 資産	35,703,651,961
コール・ローン等	531,677,715
公社債(評価額)	34,846,738,428
未収利息	263,377,637
前払費用	32,314,027
差入委託証拠金	29,544,154
(B) 負債	94,330,646
未払解約金	94,330,646
(C) 純資産総額(Ａ－Ｂ)	35,609,321,315
元本	22,105,395,582
次期繰越損益金	13,503,925,733
(D) 受益権総口数	22,105,395,582口
１万口当たり基準価額(Ｃ／Ｄ)	16,109円

＜注記事項＞

①期首元本額　26,562,212,628円
　期中追加設定元本額　53,309,293円
　期中一部解約元本額　4,510,126,339円
　また、１口当たり純資産額は、期末1.6109円です。

②期末における元本の内訳（当親投資信託を投資対象とする投資信託ごとの元本額）

三菱ＵＦＪ 豪ドル債券インカムオープン	21,173,166,107円
三菱ＵＦＪ 豪ドル債券インカムオープン（年１回決算型）	932,229,475円
合計	22,105,395,582円

○損益の状況 (2025年３月11日～2026年３月９日)

項　　目	当　　期
	円
(A) 配当等収益	1,208,213,409
受取利息	1,207,711,177
その他収益金	502,232
(B) 有価証券売買損益	5,692,374,480
売買益	6,139,933,280
売買損	△　447,558,800
(C) 保管費用等	△　2,854,986
(D) 当期損益金(Ａ＋Ｂ＋Ｃ)	6,897,732,903
(E) 前期繰越損益金	8,554,922,957
(F) 追加信託差損益金	20,080,242
(G) 解約差損益金	△ 1,968,810,369
(H) 計(Ｄ＋Ｅ＋Ｆ＋Ｇ)	13,503,925,733
次期繰越損益金(Ｈ)	13,503,925,733

(注) (B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。
(注) (F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。
(注) (G)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

［お知らせ］

投資信託及び投資法人に関する法律第14条の改正に伴い、記載変更を行い、信託約款に所要の変更を行いました。
(2025年４月１日)